

## 会 議 録

会議の名称	第7回一般廃棄物処理施設整備検討委員会
開催日時	平成30年1月10日(水) 午後1時30分から午後2時30分まで
開催場所	能代山本広域交流センター 第1研修室
出席委員等	<p><b>【委員】</b>  濱田 雅巳 公益社団法人全国都市清掃会議 技術部長  川村 之聡 秋田県 生活環境部環境整備課 課長  藤田 定 能代市 (委員長)  宮腰 慶聡 能代市  淡路 和春 藤里町  淡路 高江 藤里町  加賀谷 道則 三種町 (副委員長)  辻 正英 八峰町  金平 公明 八峰町</p> <p><b>【オブザーバー】</b>  池田 誠 能代市 環境産業部環境衛生課 課長  村岡 徳一 藤里町 生活環境課 課長  川村 義之 三種町 町民生活課 課長  佐々木 高 八峰町 総務課 課長</p>
欠席委員等	<p><b>【委員】</b>  鶴田 俊 公立大学法人秋田県立大学 教授  平塚 三千男 三種町</p>
事務局職員等	<p><b>【能代山本広域市町村圏組合】</b>  事務局長 佐藤 隆一  事務局次長 袴田 功  環境衛生課 課長 有山 勇  環境衛生課 課長補佐 田村 典勝  環境衛生課 主査 笹村 敬之</p> <p><b>【説明補助員】</b>  一般財団法人日本環境衛生センター  環境事業第一部 部長 佐藤 幸世  環境事業第一部 事業推進役 是則 恭士  環境事業第三部 環境事業課 課長 池本 久利</p>
次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 案件 (1) 二次選定について (2) 三次選定の評価項目について

	<p>(3) 今後の委員会スケジュールについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
配布資料	<p>資料1 二次選定について (案)</p> <p>資料2 三次選定の評価項目について (案)</p> <p>資料3 今後の委員会スケジュールについて (案)</p>
発言者	<p>案件・発言・結果等</p>
事務局	<p>1) 開会</p>
委員長	<p>2) 委員長あいさつ</p>
事務局	<p>3) 案件</p> <p>(1) 二次選定について  &lt; 資料1に基づき説明 &gt;</p> <p>第6回検討委員会において、組合及び構成市町より情報提供があった17箇所の候補地から、一次選定の条件を満たしていない3箇所の候補地を除外し、14箇所を二次選定の対象とする候補地とした。また、二次選定については、15の評価項目、配点及び評価基準を設定し、合計点による適性の比較評価を行い、数箇所程度に絞り込むこととした。</p> <p>二次選定の評価結果(案)については、合計点が8番目以降の候補地は地形・地質条件の評価が低く、多額の用地造成費等が見込まれ、三次選定での経済性の評価が低くなると予想されることから、上位7箇所の候補地に絞り込むものである。</p>
委員	<p>⑮埋蔵文化財について、土木工事中に遺跡等を発見した場合、工事を一旦止めて、貴重な文化財が確認されれば保存することになると思う。埋蔵文化財包蔵地内と包蔵地外では、工事等の進め方にどのような違いがあるか。</p>
事務局	<p>埋蔵文化財包蔵地内で工事を行う場合は、事前に市・町教育委員会経由で県教育委員会に届出し、試掘調査を依頼することになる。試掘調査で遺跡が確認された場合には、事業者の負担で本調査を行い、文化財の保存方法や工事の進め方について協議することになる。</p> <p>埋蔵文化財包蔵地外においても、市・町教育委員会に相談し、簡易な調査により遺跡の有無を確認してから、工事に着手することになると思う。</p>
委員	<p>二次選定では施設整備で対策が可能と考えられる条件よりも、法規制条件、環境条件、交通条件の絶対的条件の評価が高くなる候補地を選定することが望ましい。しかし、環境条件の「⑥周辺住宅の立地状況」「⑦教育、福祉施設等の立地状況」と交通条件の「⑨収集・運搬効率」「⑩住民の利便性」では、評価が逆説的な関係になる。生活基盤に近く収集ごみの運搬がしやすい候補地を適地として重要と考え、収集・運搬効率等の交通条件に比重を置いていることから、その評価の高い上位7箇所に絞り込むのは妥当であると思われる。</p>
委員長	<p>事務局案では7箇所の候補地に絞り込むこととしているが、箇所数を含めて意見をお願いする。</p>

委員	7番目と8番目以降での大きな違いは、やはり交通条件の評価にある。二次選定ではここで線引きし、あとは三次選定の評価において判断することが妥当と思われるので、三次選定の対象候補地は、この7箇所でのよいのではないか。
委員長	二次選定の評価結果及び上位7箇所の候補地に絞り込むということでのよいか。
委員	異議なし。
委員長	二次選定では、7箇所の候補地に絞り込むこととする。
事務局	<p>(2) 三次選定の評価項目について  ( 資料2に基づき説明 )</p> <p>三次選定では、経済性に関連する評価項目を設定し、二次選定の評価と合わせて、2～3箇所程度の有力候補地を選定する。</p> <p>三次選定の評価項目(案)は、関連設備の工事費、用地の造成費等を設定するものである。</p>
委員	⑩関連設備の工事費のうち、水道と地下水については、どちらか一方を使用するということか。
事務局	プラント用水については、地下水の使用を想定している。生活用水については上水道の引き込みが可能であれば上水道を使用し、引き込みができれば地下水を浄化して使用することになる。
委員	プラント用水について、必要水量約100m <sup>3</sup> /日としており、民間の生産工場に比べれば少ない水量と思われるが、地下水は水脈によって水量が異なる。地下水の汲み上げ試験をしなければ、必要な水量を確保できるかわからないと思うが、候補地の地下水の状況は把握できているのか。
事務局	現段階で全ての候補地を把握しているわけではないが、周辺の地下水調査等の結果から地下水の使用は可能と思われる。
委員	給水区域や下水道処理区域について、候補地の指定状況を把握しているか。
事務局	給水区域等については把握しているが、区域内であっても水道管が敷設されていない候補地もある。その場合、引き込み費用は事業者側で負担しなければならないこともあるので、引き込みできるか確認し、上水道と地下水のどちらを使用するか検討しなければならない。
委員	沿岸部では津波対策に費用がかかることも考えられる。現段階では建物の構造等が決まっていないため、費用を算出することは難しいと思うが、できれば三次選定に盛り込んだ方がよいと思われる。また、評価ができないとしても、津波対策への認識は持った方がよい。
事務局	津波対策の概算費用については、算出できるか検討したい。算出できない場合でも、どのような津波対策が考えられるか付記したいと思う。

委員長	三次選定の評価項目については、原案どおりでよいか。
委員	異議なし。
委員長	原案どおり決定する。
事務局	<p>(3) 今後の委員会スケジュールについて  ( 資料3に基づき説明 )</p> <p>第5回検討委員会において、最短スケジュール案として平成29年度中に三次選定まで行うこととし、状況によって延長することとした。次回の現地踏査は積雪時に行うことは困難であり、また一般廃棄物処理施設整備基本構想では平成30年まで用地選定を行うことになっていることから、今後の委員会スケジュールを変更するものである。</p>
委員長	今後の委員会スケジュールは、変更案のとおりでよいか。
委員	異議なし。
委員長	変更案のとおり決定する。
委員長	<p>4) その他</p> <p>現地踏査と第8回検討委員会については、本会議と同様に非公開とし、会議録・会議資料を一部公表としたいと思うがよいか。</p>
委員	異議なし。
委員長	現地踏査と第8回検討委員会は非公開とするので、資料の取扱いに十分注意するようお願いしたい。
事務局	<p>現地踏査は4月、第8回検討委員会は5月に開催を予定している。</p> <p>5) 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>